

私達が最も尊敬し愛慕する教皇ヨハネ二十三世聖下は去る六月四日午前三時、全世界の人々から惜しまれながら御永眠なさいました。今日(六月十日)はこれ程多くの信者の皆様がお集りになり教皇様の冥福をお祈り申し上げることの出来ましたことは教区長として誠に感激に絶えません。又府庁の代表者の方がこの式に参列して下さいましたことを心から

厚く御礼申し上げます。
教皇様は全世界の五億八千万の信
者の頭として、権威、権力をおはしい
ままにされ、感ただけがふるまつ
ておられるとは間違いで、
教皇様は自己を完全に捨て、信者達
の僕としてお尽し下さるのであります。
ヨハネ二十三世教皇様の在位は僅
か四年六ヶ月で、歴代教皇の在位に



京都教区長 古屋司教

(ヨハネ二十三世に追悼のミサを捧ぐ)

平和の使徒



古屋司教認可
発行所 教区事務所
定価 一部 10円
予約 一年 100円

比較して実に短いものでありました。が他残の多くの教皇様より大きな業績をお残しになりました。教皇様は至極平凡な方で、大学者でもなく、大聖家でもなく、又、何かの専門家でもなく、特別に取柄のある方でもありませんでした。教皇に選挙されましたときはお年寄のカルデイナルとして一般に危惧された方であり、又、一時的仮の教皇として考えられたに過ぎませんでした。

ところがいよいよ教皇として君臨なさるや、世界中の人々の注視の眼差しは一勢に教皇に向けられたのであります。カトリックの信者ののみでなく、全世界の全ての人々、而も共産主義の人々迄も教皇に大きな関心を示したのであります。一体それは何故でありましたでしょうか。それは教皇様が神の聖旨を全世界の人々に伝える事を念願し、あらゆる努力を惜しまれなかつた為ではないでしょうか。

は教皇様のこの尊い言葉にどれ程感動されたことでしょう。教皇様がお亡くなりになつてから二日間の間に約三百万人以上の人々が最後のお別れとお祈りを捧げる為に大聖堂に集まつたのであります。教皇様が世界中の人々からどれ程愛されておられたかは週間誌「タイム」の表紙に、四年間の中に四回もその柔軟なお顔を載せられた事をみて頷づけるのであります。特に今年の新年号には「年の人」として載せられたのは誠に印象的であります。

教皇様は神様の愛をそのまま実現しておられました。一度お会いすれば懐しい親しみを禁じ得ない方であります。若し教皇にならなければより一層長寿を保たれたのではないでしょうか。「僕達の僕」となられた教皇様は全人類の慈父として全力を尽してその使命を果されたのであります。御側に接する人々に対しても善意をつくし、細い点にまで細心の注意を払われました。「友の為に己が生命を捨てる程大きな愛はないと云うキリスト様の精神を以つて人々に尽されました。御自分が

更に約二千五六百名の司教達が中央列(片側は十五列)に居並ぶ中を入口より中央祭壇迄、輿に乗ったまま進まれることになつてゐるのですが、その時入口で何事か起つたらしく、教皇様の入場の行列が、一時どたついていると思つて居りましたところ、やがて教皇様は輿を降り、司教様達の見下す中を歩いて祭壇まで行かれたのであります。その時の御様子は如何にも御自身が公会議に対する全責任を担つて居られる様であり、司教様達の見下す中を静かに歩かれる教皇様の謙遜な姿は誠に印象的であります。

公会議の統けられてゐる或日の事一人の枢機卿がミサを捧げ、教皇様御自身が御説教をなさつた事があります。その時教皇様はラテン語で話し始められました。ところがラテン語というは普通の話す言葉としては實に難しい言葉で、正しい文法を使ふことは至難のことであります。教皇様も始めの間はその為に苦心しておられる御様子でした。普通の人なら始めた以上最後迄何とかラテン語で話し続けるのであります。

皇様は無条件で奉仕的・献身的愛をすべての人々に示されました。人間の世界に愛がなかつたら一つ一つの家庭に於てもどれ程淋しく味気ないものであるかを教えられたのであります。

愛情によつて問題が解決されない時は法律によつて正しく裁かれるであります。しかし我々は法の権力に動かされるのではなく、愛によつて生きてゆかなければならぬのであって、神様が私達を愛して下さる通りに私達も他の人々を愛し、愛によつて世界を平和に導びくように致しましょう。理窟で世界は平和になれないであります。人々が皆、善意をもつて愛し合う時こそ世界には眞の平和が訪れるのであります。全世界の善意のあるすべての人々に向かつて呼びかけられたヨハネ三世教皇様の言葉を遺言としてそのお勧めに従い、教皇様の靈前に誓いましょう。真心を尽し、家庭、社会世界そして全人類の平和を祈ることがお亡くなりになつた教皇様に対する私達の唯一の捧げものなのであり

司祭の異動

ハワード・オブライアン師
（坂本教会主任代理）

（七月十五日～八月三十一日）

ヨゼフ・西野猛生師（西院教会助任）

|| 坂本教会主任（六月一日附）

|| 教区時報編集係

ウイリアム・マッケーシー師
（唐崎メリノールハウス院長）

なさいました。通常、教皇の挨拶の型は「親愛なる兄弟達よ、余はすべての樞機卿、すべての司教、司祭、修道者並びに信徒の各位に対して御復活の挨拶と祝福を送る……」という形式で始まるのですが、今回の挨拶には「凡ての信者並びに世界の善意ある凡ての人々に挨拶を送る……」という言葉で始められたのであります。これは教皇様が教皇としての何の野心もなく、互いに愛し合わなければならぬ人々が二つの対立した世界に分れて目前で争そつてゐる有様をぐらんになり、むしろ堪えられぬ気持を表わす為に、思わず全世界の人々に対して送る挨拶の言葉となつたのであります。人々

認められようとする野心は微塵もなく、極く自然に謙遜の徳を実行なさいました。

教皇になられた時、伝統として新聖ペトロ大聖堂に入場なさるのであります、ヨハネ二十三世はそれを断り、御自分で人々と一緒に歩かれようとなされた程であります。それが側近の人々から「若し興に乗らなければ全衆が教皇様を見ることができまんから」と進言されたのでやむを得ず次々御承諾になり興の人となられた程であります。

又公会議の時も教皇はお通りになれる道を埋める信徒達の中を興に乗つて聖ペトロ大聖堂の入口迄来られ、

が、教皇様はそんなことを全然意に介せず、不自由なラテン語よりも自由に使える自国語の伊語に突然変えておしまいになりました。それには一同騒然としたのです。それは御自分の意志を適確に表わす為でありました。教皇様は常に正しく御自分の意志を示されたのであります。

教皇様は又、敵味方の区別なく、凡ては神の子としてお互に兄弟であることを強調なさいました。即ち教皇様はキリストの愛を直接実行に移されたのです。歴代の教皇様が遠慮してなしえなかつた事をどしどし実行されました。刑務所を訪ねては囚人達に「あなた達が私のところに来ることが出来ないから、私の方から皆さんに会いに来ましよ」と言つて囚人達を感じさせ、車の運転手、通りがかりの庭師にも親しく話しかけられました。凡て人々に対して、やさしい愛の気持をもつた。」と言つて囚人達を感じさせ、車



MEDITATION OF THE MONTH

"Heart of Jesus, Pierced with a lance,
have mercy on us."

"But one of the soldiers opened His side with a lance, and immediately there came out blood and water." (John, 19, 34)

.....sanctifying Blood to redeem the souls of all men, and saving Water to purify the hearts and lives of all men.

Heart of Jesus, pierced with a lance,
Have mercy on us.

月の黙想

「槍にて貫ぬかれたるイエズスの聖心、われらを憐み給え」

「一人の兵士が、槍で御脇を突いたので、すぐ、血と水とが流れ出た。」(ヨハネ 19, 34)

.....それはすべての人々の心を救済のため聖化する御血であり、人々の心と生命を清める救済の水であります。

槍にて貫ぬかれたるイエズスの聖心
よ、われらを憐み給え。

賴がみなぎっていた。

西院教会では、聖母に捧げられた五月中の毎日曜日、午後八時から「聖母月の集い」を催した。聖体降福式を行い、その式の間に聖母マリア様についての短い説教とロザリオの祈り一串を唱えた。聖歌と祈りとをもって聖母を讃える為に集まつた人は二十名乃至二十五名であった。

五月最後の日曜日には、聖母の御像への戴冠式を行つた。美しい五月の花「さつき」で編まれた冠は、少女の手によって感謝の中に聖母の頭に置かれた。その日参列した四十数名の人々の心には、天の母マリア様に対する愛のはおが燃え、深い信

十余年前から奈良県で布教して居る豪州マリスト会では若葉かねる五月二十六日、萬葉集の歌で知られた二上山（標高四七四メートル）頂上で莊嚴ミサをおこない、県下の各教会から多数参加した司祭、修道女、信者は求道者と共に奈良県の布教の仕事と信者それぞれの心を聖母マリアにささげ、この意義ある催しを毎年聖母月に同じ山頂で取りおこなうことになった。

ふりつづく連日來の雨もやみ、山麓の当麻病院の求道者たちが汗を流して作った竹の祭壇のみどりは、日に見おろしながら日本文化の発祥地やまとこの國のためにたてられた莊嚴ミサの祭典は行きかう登山者の足をとどめさせ、知らず、知らずの

高田教会ウイックス神父が聖歌隊の指揮をとつて正午すぎから始められ、マリスト会院長トニー・グリン神父、善きサマリア人会奈良修道院のシスターたちも、この聖祭に主のみさかえと聖母のご保護を声高らかに賛唱していた。なほこの催しに賛同して大阪教区のJ・O・Cから代表者が伊丹教会、三国教会より参加して、平和日本の明日をきずくために協力のきずなを強めた。ミサ終了後、大和高田教会の青柳信者会長の催しを契機として、信者お互いの心がまえを大要つぎのように語った。

人の靈をとうとび、うやまい、これまでの靈はカミと呼ばれ、カミの恵みを求めるがえり、大和平野を一望のもとに見おろしながら日本文化の発祥地やまとこの國の丸の国旗がへんぱんとわらには日の丸の旗がへんぱんとひるがえり、大和平野を一望のもとに映えてすがすがしく、祭壇のかた

方もある。今では豪華な死者儀礼の様式だけ大きくなるようになつた。また、お経にしても經典は理解するためのものではなく、儀礼に用いるのが第一義である。僧侶でさえも儀礼用の読誦以外の目的で經典を読むのはきわめて限られていた。經典のもつ世界觀や人生觀がわれわれの実際生活にどういうつながりをもつたという生きた問題は、ほとんどとりあげられなかつた——と仏教の専門学者は述べている。これにくらべてカトリックは天主の十戒、公教會の六つのおきてがあり、信者はそ

うして親しく話し合い、また感謝を表わすことありました。当日、午前十時には多くのお母様達が保育園に集まりました。先ず、主任司祭の挨拶があり、一人の少年のピアノ演奏がありました。次に信者の松尾国雄先生の「子供の教育に就いて」の講話があり、終つて昼食を共にしました。

西院教会では、聖母に捧げられた五月中の毎日曜日、午後八時から「聖母月の集い」を催した。聖体降福式を行い、その式の間に聖母マリア様についての短い説教とロザリオの祈り一串を唱えた。聖歌と祈りとをもって聖母を讃える為に集まつた人は二十名乃至二十五名であった。五月最後の日曜日には、聖母の御像への戴冠式を行つた。美しい五月の花「さつき」で編まれた冠は、少女の手によって感謝の中に聖母の頭に置かれた。その日参列した四十数名の人々の心には、天の母マリア様に対する愛のはおが燃え、深い信

一一上山で莊嚴ミサ

聖母月の聖母に捧げる

「奈良県すなわち大和の國は日本文化のみならずあり、育てあげた支配者のミヤコである。古代の日本人は個人または社会的なしあわせと不幸を、目にみえない存在のしわざと見なし、また自然の山や川あるいは森などには目に見えない靈があり、さらに祖先の靈、とくにすぐれた故

化の思想である仏教が六世紀の中頃に新しく輸入された。

仏教はもともと戒律が基本であり、理想を実現しようとする人間としてどのような生活態度をとり、どのように生活規準を守らなければならぬか。内面的なそれらを教えるのが戒律であるのに、日本ではいつのまにか實質を忘れて外的な形式にこだわりすぎ、仮壇の大きさが家の財産や家の格をあらわしている地

方もある。今では豪華な死者儀礼の様式だけ大きくなるようになつた。また、お経にしても經典は理解するためのものではなく、儀礼に用いるのが第一義である。僧侶でさえも儀礼用の読誦以外の目的で經典を

れを基準として生活し、お祈りも信

者各自が何をいわんとするか理解してと/or>いる。このカトリック精神性と、その実践をわずかな数の神父の手にゆだねて布教することは、とうてい充分な効果を得ることはできあらたにもらいたい。」

母の日

の

西院教会



五月の母の日の二、三週間前に、当教会保育園のお母様達や教会の婦人会の会員に、小さな「お祝いの集まり」に来られるように招待状を送りました。その目的は、お母様達を招いて親しく話し合い、また感謝を表わすことありました。

次に信者の松尾国雄先生の「子供の教育に就いて」の講話があり、終つて昼食を共にしました。先ず、主任司祭の挨拶があり、一人の少年のピアノ演奏がありました。次に信者の松尾国雄先生の「子供の教育に就いて」の講話があり、終つて昼食を共にしました。

聖母月の集い

西院教会

最後に、全員聖堂に集り、聖体降福式に与かり、引続き、集つたお母様達は一人一人祭壇に近づき、主任司祭から、祝別された赤いカーネーションの花を一輪ずつ取りました。実際に簡単な式ではありましたが、集まつた人々に対し、教会が母の立場を高く評価していることを示すことが出来ました。

西院教会では、聖母に捧げられた五月中の毎日曜日、午後八時から「聖母月の集い」を催した。聖体降福式を行い、その式の間に聖母マリア様についての短い説教とロザリオの祈り一串を唱えた。聖歌と祈りとをもって聖母を讃える為に集まつた人は二十名乃至二十五名であった。

五月最後の日曜日には、聖母の御像への戴冠式を行つた。美しい五月の花「さつき」で編まれた冠は、少女の手によって感謝の中に聖母の頭に置かれた。その日参列した四十数名の人々の心には、天の母マリア様に対する愛のはおが燃え、深い信

三重県伊勢教会では、「教区時報」がひろく読まれるよう協力して下さっております。この時報が、立派なものとなる為には、どうしてもよく読まれ、またよく投稿して下さらなければなりません。御協力をお願いする心をこめて、左に伊勢教会のPRの文章を記させて戴きます。

「教区時報の」PR

—伊勢教會—

「P R」の頭文字を取ったもので、伊勢教会は、このようにして、信教の自覚と品位を高めるために大変必要なものであります。それで、皆さんが「教区時報」を是非一部ずつとるように勧めました。「教区時報」は、他教会の信心活動や教区の種々な出来事が、忘れず、キリストの神秘书の一員たることを自覚しなさい」と言われました。

長岡で初ミサ

——桂教會——

迎えました。

六月二日、聖靈御降臨の大祝日に長岡町の家で、岡師により初めて桂小教区の信者村井孝一氏（乙訓郡）のミサが捧げられた。

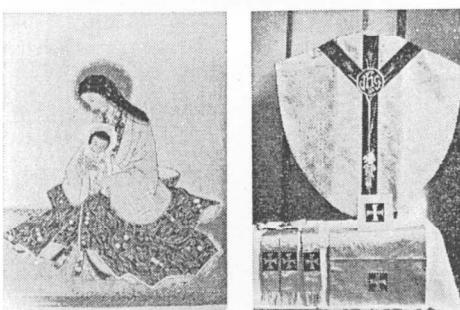
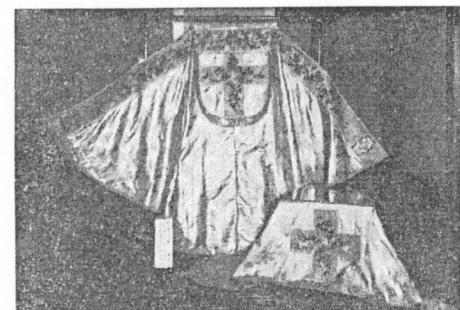
「西陣織の祭服」

終戦後、前社長寺本武治（海軍少將）は、国産生糸を使用しつつ、日本の伝統ある西陣織の技術を如何に保存し、且つ発展せしめるか——そして又、この技術により何とか外貨の獲得に貢献しようと考えまして、その親友でありました現上智大学教

別がつかずチグハグな試し織の連続でありますたが、二年余の努力の結果、ニューヨークのスペルマン枢機卿閣下にお納めすることが出来ました。これにより、今迄の祭服生産地、イタリー、フランスの織物と同様、日本の西陣織が、祭服に要求される、軽さ、しなやかさにおいて、充分満足されるものであるといふ自信を得ました。

父様（当時、カトリック教区連盟総務部長、現京都桂教会主任）を御紹介いただきました。同師は、カトリック典礼の知識を全く持た合わせなかつた我々を、献身的に御指導下さり

東洋風のカトリック教会祭服を研究致してまいりました。



「心のともしび」放送実施表（月～土）	
北海道放送	PM. 3.50～3.55
青森放送	AM. 9.55～10.00
東北放送	PM. 5.55～6.00
文化放送	AM. 5.40～5.45
東海ラジオ	PM. 4.50～4.55
ラジオ京都	PM. 6.15～6.20
ラジオ山陰	PM. 5.00～5.05
九州朝日放送	PM. 1.50～1.55
長崎放送	PM. 1.50～1.55
琉球放送	AM. 11.30～11.35
ラジオ大阪	PM. 6.00～6.05
新潟放送	PM. 3.30～3.35

昨年末より京都市内各教会の共同墓地として衣笠山麓のカルメル会所が完成した。この敷地をゆづり受け、整地作業が進められていたが、此の程完成し、よいよい一般信者の使用が認められる運びとなつた。呼称も近代的なふんസを持つ「衣笠山麓のカルメル会所」がわしく、将来は公園として更に計画をすすめている。御希望の方は左記要領により、教区事務所に申し込まることになっている。

「新らしい墓苑」
衣笠山に

多くの海外に出ると共に、日本の教会、修道会には、信徒使徒職の気持で教会に貢献して下さい。」

能になりました。又一般普及品として、一着五千円位でも製作致すことが出来るようになりました。

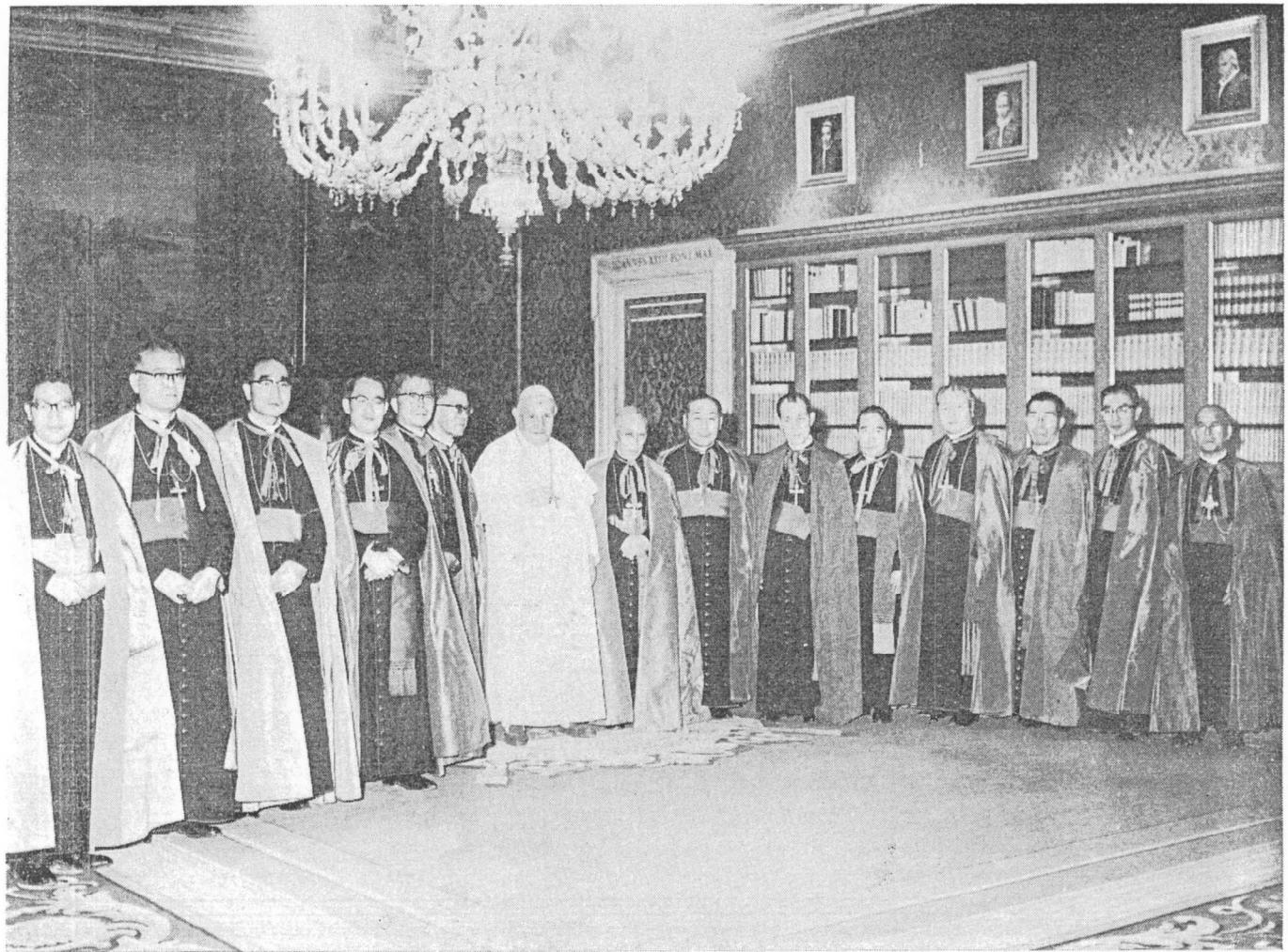
修道会などには、材料品も販売致しております。

第十条 次の各号に該当するときは、たとえその使用許可を取り消すことがあらう。一、許可なく信者以外のものを購入して、手に埋葬したとき。
二、第三条の区別に従わなかつたとき。

現在では、祭服一着八千円～五万円位の間、各種百余点の製作が可

(下左) 聖画の織物　　れた祭服一式の一部

第十条 次の各号に該当するときは、たとえその使用許可を取り消すことがあらう。一、許可なく信者以外のものを購入して手に埋葬したとき。
二、第三条の区別に従わなかつたとき。



子羊のみなさまへ

奈良援助會員

セ・シリア・リドビナ

春を呼ぶ奈良のお水取りが、今年は珍しく降りつもる雨と共に終りました。

ふりまわして毎日毎日を過ごしてしまい、久しぶりに忘れていた「やさしい心」という言葉をまた新しいものぞきみつけて取り出しました。

色で頭をもたげている事でしょう。ポト・ポトとやわらかい春の雪のとけ音をききながら、大好きな京都を思い出し、皆様の上にお恵み豊かならん事を望みつつ、つたないお便りを致しました。

編集室より

京都市中京区河原町三条上ル
下丸屋町

京都教区事務所内
教区時報係宛

此の写真は第八号に掲載したものですが希望される方のために複写致しました。（大きさは縦二十糎、横二十八糎）

今や米国ボストンの大司教カルデナル・クシーン、新教皇パウロ六世の提唱により列聖運動が起されれるヨハネ二十三世教皇と日本の各教区長司教様達との記念すべき写真で

もありますので御希望の方におわけすることに致しました。御希望の方は各教会別にお申し込み下さい。代価は二百円です。教区時報が赤字の為少し御寄附の意味もありますので一人でも多くの方が御希望下さる事を切にお願い致します。記念として是非御注文下さい。

希望される方に

教区時報係り

此の写真は第八号に掲載したものですが希望される方のために複写致しました。（大きさは縦二十糎、横二十八糎）

今や米国ボストンの大司教カルデナル・クシーン、新教皇パウロ六世の提唱により列聖運動が起されれるヨハネ二十三世教皇と日本の各教区長司教様達との記念すべき写真で

もありますので御希望の方におわけすることに致しました。御希望の方は各教会別にお申し込み下さい。代価は二百円です。教区時報が赤字の為少し御寄附の意味もありますので一人でも多くの方が御希望下さる事を切にお願い致します。記念として是非御注文下さい。

此の写真は第八号に掲載したものですが希望される方のために複写致しました。（大きさは縦二十粁、横二十八粁）

もありますので御希望の方におわけすることに致しました。御希望の方は各教会別にお申し込み下さい。代価は三百円です。教区寺報が赤字の

為少し御寄附の意味もありますので
一人でも多くの方が御希望下さる事
を切にお願い致します。記念として
是非御注文下さい。

- 教区時報も発刊以来一年を経過致しました。この一年間の決算により赤字になりましたので、将来の見通しがつづくまで休刊の止めなきに到りましたが、幸い各教会の神父様方の御理解により、申込み部数が増加しましたので、再び継続発行することになりました。就きましては、今後も、ますますよい時報となりますよう御協力下さい。

○お願い!! 内容が平凡なものになりますので、お気付きの事はどしどし御連絡下さい。

○原稿の締切りは毎月十日まで。

○記事はニュースの他に美談、失敗質問、こぼれ話等もどしどし。

○原稿については紙面の関係上当方で取捨てることもありますが予め御諒承願ります。

○どうしても記載を必要とする場合は其旨を明示して下さい。

○申込まれた部数の他、破損其他の都合を考えた上余分に送りました所もありますが、料金は予約分だけ送金して下されば結構です。

○紙面の都合上、内容がニュースに限られる傾向になりますことを御諒承下さい。

○請求書、受領書を時報発送の際封致しますが、疑問の点があれば係り迄お問い合わせ下さい。